

衆議院厚生労働委員会ニュース

平成 25. 5. 22 第 183 回国会第 13 号

5 月 22 日（水）、第 13 回の委員会が開かれました。

1 公的年金制度の健全性及び信頼性の確保のための厚生年金保険法等の一部を改正する法律案（内閣提出第 53 号）

- ・原案及び修正案について、田村厚生労働大臣、後藤法務副大臣、榎屋厚生労働副大臣、山際内閣府大臣政務官、とかしき厚生労働大臣政務官、丸川厚生労働大臣政務官及び政府参考人並びに修正案提出者山井和則君（民主）及び柚木道義君（民主）に対し質疑を行い、質疑を終局しました。
- ・柚木道義君外 3 名（民主）提出の修正案の撤回を許可することに、協議決定しました。
- ・上川陽子君外 4 名（自民、民主、維新、公明、みんな）提出の修正案について、提出者中島克仁君（みんな）から趣旨説明を聴取しました。
- ・原案及び修正案に対し、高橋千鶴子君（共産）が討論を行いました。
- ・修正案について採決を行った結果、賛成多数をもって可決されました。
（賛成一自民、民主、維新、公明、みんな、阿部知子君（無） 反対一共産）
- ・修正部分を除く原案について採決を行った結果、賛成多数をもって可決され、本案は修正議決すべきものと決しました。
（賛成一自民、民主、維新、公明、みんな、阿部知子君（無） 反対一共産）

（質疑者及び主な質疑内容）

富岡 勉君（自民）

- ・現行の年金制度を持続させる上での課題について厚生労働大臣の認識を伺う。
- ・国民年金基金制度が普及していない理由と同制度の普及に向けた今後の取組について厚生労働大臣の見解を伺う。
- ・地域医療で重要な役割を果たしている有床診療所を温存する施策の必要性について厚生労働省の見解を伺う。

古屋 範子君（公明）

- ・被保険者種別の変更の届出を適切に行っている者が大多数である中で、本法律案で第 3 号被保険者記録不整合期間を有する者を救済する措置を講ずる必要性について伺う。
- ・就労の促進や厚生年金の適用拡大、被扶養配偶者となる収入要件の見直しなどを通じ第 3 号被保険者を見直すべきと考えるが、とかしき厚生労働大臣政務官の見解を伺う。
- ・目標を定める等女性管理職の登用について積極的な企業を後押しする施策について厚生労働省の見解を伺う。

柚木 道義君（民主）

- ・物価上昇 2% を目標とするいわゆるアベノミクスによる経済政策を行う中で、物価上昇を上回る賃金上昇が生じない場合、実質年金受給額は減額となることについて、

厚生労働大臣の見解を伺う。

- ・経済政策の影響により実質年金受給額が減額となることから、特に低年金者への支援策を検討する必要があると考えるが、厚生労働大臣の見解を伺う。

長妻 昭君（民主）

- ・5 月 17 日の社会保障制度改革国民会議において、厚生労働大臣は、低所得者対策として福祉的給付で足りるのかどうかという議論はしなければならない旨の発言をしているが、どのような対策が必要と考えているか。
- ・被用者でありながら厚生年金に入ることができず、国民年金に適用されている者がこれほど多い国は先進国の中で日本の他にないことに対する厚生労働大臣の認識を伺いたい。
- ・厚生年金に入れない非正規労働者が多数いる問題を解決するために、事業主負担の軽減策等を検討する必要があると考えるが、厚生労働大臣の見解を伺いたい。

大西 健介君（民主）

- ・消費税率の引上げに加え、いわゆるアベノミクスによるインフレターゲットによりマクロ経済スライドが発動し、実質年金受給額の減額が重なり、高齢者の生活がさらに厳しくなることに対する厚生労働大臣の認識を伺いたい。
- ・平成 22 年 9 月の厚生労働大臣書簡における厚生年金基金の役員等の公募要請後も国家公務員の天下りが継続され

ている理由を伺いたい。

- ・第3号不整合記録問題への対応について民主党政権が決定した過払い相当額の返還を求めないとの方針に対し、当時野党であった自由民主党は強く反対していたが、今回一転して同じ内容の法律案を提出した理由を伺いたい。

山井和則君（民主）

- ・いわゆるアベノミクスによる物価上昇率2%のインフレターゲットが達成されるとマクロ経済スライドが発動し、実質年金受給額が減額されることに対する厚生労働大臣の認識を伺いたい。
- ・平成26年4月からの年金額の改定に関わる賃金上昇率が、名目の年金額が減額とならない1%となる可能性を伺いたい。
- ・介護保険の対象から要支援者を除外することや都市部の特別養護老人ホームの入所待機者を増設する地方の特別養護老人ホームに移転させることは大問題だと考えるが、厚生労働大臣の見解を伺いたい。

伊東信久君（維新）

- ・障害者が社会参加できるよう社会全体で合理的な配慮をすべきという意識が他国に比べ低いことに対する厚生労働大臣の見解を伺う。
- ・代行割れの生じた厚生年金基金が解散する際に企業の連帯債務を求めないとすれば、厚生年金の財政は更に悪化するのではないか。
- ・年金番号の適切な管理の為に共通番号制度を活用する必要性について厚生労働大臣の見解を伺う。

足立康史君（維新）

- ・全ての厚生年金基金を強制的に解散させた場合の訴訟リ

スクをどのように評価しているか厚生労働大臣及び民主党修正案提出者の見解を伺いたい。

- ・民主党政権下で政府が提出した年金機能強化法案の原案に盛り込まれていた高所得者に対する年金額の調整はカナダのクローバック制度に相当する考え方だと評価しているが、なぜ実現しなかったのか経緯を伺いたい。
- ・現在の社会保障制度は、社会保険と福祉、税と保険料などが入り組んで複雑すぎるものになっている。抜本的に改革するための議論をすべきではないか。

中島克仁君（みんな）

- ・厚生年金基金の役割は終わったと考えているのか、厚生労働大臣の見解を伺いたい。
- ・解散する厚生年金基金の職員の再雇用問題について、厚生労働省はどのような対応を考えているのか伺いたい。
- ・中・高校生に対する社会保障教育の実施状況について伺いたい。

高橋千鶴子君（共産）

- ・第3号被保険者の記録不整合問題が発覚した後、迅速な対応を取ることができなかった理由について、厚生労働大臣の見解を伺いたい。
- ・児童扶養手当と公的年金の併給制限を早急に見直すべきと考えるが、厚生労働大臣の見解を伺いたい。
- ・国民年金制度に国籍要件があったことにより無年金障害者となっている在日外国人について、実態調査をした後、何らかの措置を講ずるべきと考えるが、厚生労働大臣の見解を伺いたい。